西南学院小学校 学校長メッセージ
「学校通信 Wings 2026 年１月号」

いつも喜んでいなさい、絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

（テサロニケⅠ　5 章 16～18 節）

あけましておめでとうございます。
新しい年が、たくさんの喜びで満ち溢れるものとなりますようにと心から願っております。

始業式での子どもたちの歌声は、本当にその場にいる者すべてを元気にする力を持っていました。幸せな冬休みを過ごせたということなのでしょう。そして、新しい年に大きな期待をもっているということなのでしょう。子どもたちの笑顔とやる気が消えないように学校生活も充実させていきたいと思います。今年もご協力・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

「一つひとつの出会いを大切にして、自分の世界を広げよう！」という話を始業式でいたしました。「出会い」と「自分の世界を広げる」ことの大切さについては、今後のチャペルで続きを行っていく予定です。今日は、「出会い」と「自分の世界を広げる」にあたって、まず大切なことが『挨拶』であることを伝えました。人と人とがより良い繋がりをつくっていくためには、欠かせないことです。家族間であっても、「おはようございます」や「ありがとうございます」をきちんと届けることができていますでしょうか。今月の生徒指導のめあても「あいさつ名人になろう」になっています。まずは、周りの大人が「あいさつ名人」としてのお手本を見せていきましょう。

１月は、たくさんのお客様をお迎えすることになっています。
16 日（金）・17 日（土）は、「キリスト教学校教育同盟の代表者会議」が、西南学院小学校を会場校として行われます。年に一度、全国のキリスト教学校代表者が集い、教育の課題を学び合い、教育の本質を掘り下げる重要な研修会となっています。今回の研修会は、「キリスト教教育と平和教育」を主題に、その根本から学び直し、児童への教育の一助となるものにと行われます。（本年度の参加校：浦和ルーテル・東京三育・青山学院・自由学園・ライシャワー学園・立教女学院・立教・聖学院・東洋英和女学院・関東学院・青山学院横浜英和・横須賀学院・同志社・平和学園・西南学院）
23 日（金）は、研究発表会が行われます。西南学院小学校が創立されて、今年 17 年目を迎えようとしています。これまでたくさんの方々の支えによって教育活動を進めてこれたことに感謝するばかりです。今まで、本校が発展し、児童のより良い成長に寄与することができるよう、校内研究を進めてきましたが、今年度は、さらなる発展を目指して、授業を他校の先生方に公開する機会を設けました。
子どもたちに、「学ぶことは、本当に大切」と言っている教師自身が深く学ぶことで、授業の内容が子どもたちの成長にとって、豊かで価値あるものとなるはずだと考えています。『挨拶』同様、子どもたちの良いお手本になりたいと思います。

下校時刻がいつもと変わる場合がありますが、ご理解・ご協力をどうかよろしくお願いいたします。

（文責　黒木佐幸）